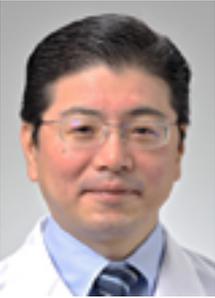


専門研修プログラム連携施設紹介フォーマット

施設名	社会医療法人 禎心会 札幌禎心会病院	連携領域	脳神経外科
		病院情報	
		住所	〒065-0033 札幌市東区北 33 条東 1 丁目 3-1
		連絡先	011-712-1131(代表)
		病床数	279 床
		理念	良質な医療・介護を通じて地域社会の繁栄に貢献する。

領域別研修紹介

領域名	脳神経外科	指導医数	5	名	専門医数	12	名
		脳神経外科研修責任者					
		札幌禎心会病院 副院長・脳卒中センター センター長 谷川 緑野 旭川医科大学卒業 日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、臨床研修指導医 東京医科大学病院脳神経外科兼任教授 脳神経外科専門研修に関する連絡・問い合わせ先 札幌禎心会病院 TEL011-712-1131 担当 脳神経外科部長 野田 公寿茂					

《研修の特色、施設のストロングポイント》

札幌禎心会病院 脳神経外科 脳卒中センターはセンター長の谷川緑野以下 12 人の脳外科医で診療を行っております。当院脳卒中センターは 24 時間の救急態勢で、救急搬送依頼は「断らない」姿勢を徹底して継続し、札幌市民の信頼を得て、脳卒中のみならず消化器救急などの救急患者さんも増加してきております。

私のもとに集まってくる若手脳神経外科医は学閥を超えて自分の意志で集まって来ているので、一人ひとりのモチベーションが高く、手術訓練のみならず高い向上心をもって毎日の診療にあたっています。月曜日から金曜日までは毎日 2-3 例の脳動脈瘤や頭蓋底腫瘍、脳血行再建術などの予定手術が組まれており、すべての予定手術症例は当日朝の検討会で術前サマリーをスライド形式でプレゼンテーションし、術前術野予想図をスケッチしたものを提示して術式検討を行っているため、非常に密度の濃い手術訓練がなされます。手術は基本的に主治医の先生に皮切から開頭までを最初の習得すべきステップとして経験してもらいながら、到達レベルに応じて顕微鏡手術、クリッピング、血管吻合、CEA など順番に経験してもらうようにしており、谷川が教えた一つ一つの術式と術野での立ち居振る舞いを含めて、先輩が後輩に教えていく、いわゆる屋根瓦方式で教育がなされます。更に術後は術前スケッチと術中所見を対比検討した術後スケッチと手術ビデオ編集を当日中に行い、翌朝の検討会で提示することで手術の要点をスタッフ全員で共有、確認を行います。このような、厳しいトレーニングのお陰で、当院で継続して修行を行った先生方は皆、2-5 年で殆どの動脈瘤アプローチ、クリッピングと血管吻合を習得することが出来るようになっていきます。さらに、当院では頭蓋底外科解剖教育にも力を入

れており、手術症例での頭蓋底外科解剖の確認のみならず、国内外の cadaver dissection course への積極的な参加を奨励しており、10 年目前後の先生方は基本的な anterior clinoidectomy, mastoidectomy, transcondylar fossa approach, middle fossa temporal rhomboid の理解が出来る体制としています。このような skull base approach のトレーニングは、最低でも 20 回程度の cadaver head の dissection course 参加が必須であり、目下当科の先生方のもう一つの習得目標となっています。

また、ここ 5 年間で海外からの visiting fellow の先生方が増えており、常時 5-10 人程度の外国人脳外科医が手術のみならず、当院での若手脳外科医のトレーニングを毎日見学し、同時に英語でのディスカッションのトレーニングも行っています。今年はすでに、中国から 2 名、イタリアから 2 名、ペルー 3 名、ギリシャ 1 名、ドイツ 1 名、ブラジル 1 名、中国 3 名、台湾 1 名、フィリピン 1 名、フィンランド 1 名、スペイン 3 名、インド 2 名が来ており、国際色豊かなトレーニング施設となっています。

《学会認定施設》

日本脳神経外科学会専門医認定制度による研修施設、日本脳卒中学会専門医認定制度による研修教育施設、日本脳ドック学会認定施設、日本消化器病学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設・研修関連施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設群連携施設、日本脈管学会認定研修関連施設、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術実施基準における実施施設、麻酔科認定病院、日本ペインクリニック学会専門医指定研修施設、認定薬剤師制度研修施設

領域名	麻酔科	指導医数	2	名	専門医数	4	名
-----	-----	------	---	---	------	---	---

	<p>麻酔科研修責任者</p> <p>札幌禎心会病院研修センター センター長 岩崎 寛</p> <p>札幌医科大学卒業</p> <p>日本麻酔科学会指導医・専門医</p> <p>日本心臓血管麻酔学会専門医</p> <p>日本ペインクリニック学会専門医</p>
	<p>麻酔科専門研修に関する連絡・問い合わせ先</p> <p>札幌禎心会病院 TEL011-712-1131 担当 麻酔科 岩崎 寛</p>

《研修の特色、施設のストロングポイント》

札幌禎心会病院における年間全身麻酔下の手術症例数は2017年度に約1000件で、その内訳は脳神経外科434例、頭頸部外科155例、消化器外科110例、脊椎外科95例である。その他として形成外科、婦人科、乳腺外科、心臓血管外科手術などが行われている。当院における大きな特色は、手術症例の約半数を占める脳神経外科手術症例の多さである。脳動脈瘤、各種の脳腫瘍、頸動脈狭窄、脳梗塞など緊急および定期手術で多彩な症例を経験することが可能であり、TCIによるプロポフォール静脈麻酔とレミフェンタニル持続投与による麻酔導入から術中管理の要点を習得することが可能である。一方、頭頸部外科や消化器外科手術における麻酔管理の要点も研修可能となっている。また、ペインクリニック診療も広く行われており硬膜外刺激電極埋め込みによる疼痛管理などや緩和医療における各種の鎮痛薬の使用についても研修可能となっている。麻酔科学会認定専門医、ペインクリニック学会専門医も常勤しており丁寧な研修が可能な状況でありますので、研修希望者が安心して麻酔科関連領域の知識および技術の習得が可能と考えております。